

飯舘村で植樹活動「とうほう・みんなの森づくり」を開催しました

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、2026年10月3日（土）に、飯舘村にて「とうほう・みんなの森づくり」として植樹活動を開催しましたので、お知らせいたします。

「とうほう・みんなの森づくり」は、社会貢献活動の一環として2009年度より県内各地において当行の役職員やその家族による環境保全活動として実施している植樹活動です。

当行は、本植樹活動に先駆け、2026年9月2日付で福島県が推進する「企業等の森林（もり）づくり制度」を活用して、福島県と飯舘村と三者協定を締結しております。

今回の植樹場所は、東日本大震災原発事故の除染後の覆土を確保するため、林地開発として切り開いた山の底地であり、植樹による保全活動が必要な場所でした。

当日は、当行の役職員やその家族が、豊かな自然環境を次世代に引き継ぎ、飯舘村の美しい景観づくりに貢献するために、1本1本丁寧に植樹をしました。

当行は引き続き、緑豊かなふるさとを次世代につなぐため、植樹活動に取り組んでまいります。

記

1. 実施概要

- (1) 名 称 「とうほう・みんなの森づくり」
- (2) 開催日時 2026年10月3日（土） 午前10時00分～午前11時15分
- (3) 植樹場所 相馬郡飯舘村飯樋字大平1-1
- (4) 参加者 当行役職員とその家族 約230名
- (5) 記念植樹 八重桜「はるか」3本（福島県の復興のシンボルに位置付けられている新品種）
- (6) 植樹本数 1,200本（ヤマザクラやイロハモミジ等11種）

2. 活動写真

